

平針の里山の豊かな緑の森・生物を守り育てましょう（平針運転免許試験場西側）

『平針の里山』ニュース No.3

2009年7月22日（水）

発行：平針の里山保全連絡協議会（代表：宗宮 弘明）

（事務局：〒468-0030 天白区平針台1-401 伊藤 TEL/FAX：052-803-1441）

Email: koutarou@sb.starcat.ne.jp

里山保全に向けての陳情書および請願書ができました。

みなさまの力でぜひ平針の里山の保全、緑の街づくりを進めるため、署名にご協力
よろしくお願ひいたします。

「となりのトトロ」の宮崎駿監督から直筆応援メッセージをいただきました！

宮崎駿監督も全国的に緑地を残すべきだとおっしゃっています。『日本の真ん中の名古屋市』でも、みなさんのお力が集まれば里山を残すことができるのではないのでしょうか。

署名の書き方

年齢制限はありません。

住所は「市」からお書きください。

名古屋市に限定しません。

同一住所の方は「同上」「〃」で構いません。
陳情書（平針の里山の公有地化）と請願書（里道の保全）の2種類あります。どちらにもご署名をお願いします。

できましたら用紙10名分お埋めいただきますようお願いします。

回収方法

第1次締め切りは、7月31日（金）です。

8月1日2日で回収にご訪問いたします。

下記郵便ポストでも、随時回収しておりますのでご投函ください。

シティコーポ平針台2-102 伊藤宅

とんぼヶ丘クリニック

平針南コミセン事務所

ご親類、おともだちなどお声がけいただき、たくさんのお署名が集まるようお願いいたします。用紙が足りない方は、お持ちいたしますので連絡協議会事務局またはHPまでご連絡ください。コミセンにもございます。

平針の里保全連絡協議会の
みなさんの活動を心から
応援します

緑の森の会長 宮崎駿

人口が増える時代はおおきな都市
が広がり、自然の時代もおおきな
時代です。

今は、安くのびる時代に
おおきな都市を再建する時代
に入っています

乱開発しては、おおきな土地を、
おおきな造りにおおきな
おおきな時代です

私は、東京の東京都と埼玉の所沢市
の境界で、おおきな森を
おおきな活動
をしています。遠くは
おおきな時代です。おおきな
時代は、おおきな時代
です。おおきな時代は、
おおきな時代です。

2009年7月12日

平針の里山

検索

名古屋の里山の原形風景が残っているのは、唯一ここだけ！

未来の子どもたちに残したいですね。 7月14日 中日新聞夕刊記事より

里山が残ったら
どんなことができそ
う？

平針の里山の特徴は、ため池、棚田、果樹園、竹林、雑木林・・・と自然の形態が複合して残っているところ。
この地形を活かし、お米づくりをしたり保全をしていくことは『自然とともに生きる体験・学びの場』となります。

近くには、他にも緑地があちこちにあるよね。

地下鉄が開通したら、徳重駅から 神沢池(黒石小学校南)
平針の里山 でこぼこ山
荒池緑地 平針駅まで『緑をつなぐウォーキングルート(緑の回廊)』がつながります。緑を楽しみながら健康増進できそう！

平針の里山激論

住民「今のままの姿で」 業者「環境配慮し開発」



開発か、保全か。名古屋市の平針地区(天白区)に残る里山で、保全を求める住民と、開発業者の対立が続いている。「歴史あるモノを残そう」が持論の河村たかし市長が調停役を買って出たが、両者は真っ向から対峙。今月中に打開策を見いだせない、双方から法的な措置を求められる事態も危うい。

開削の里山は、平針連野の西にあるため池など一部は残す。雑木林や竹林を残す意義があるのか。水田やため池、雑木林が広がる。市に開発申請し、市に開発申請し、河村市長に就任した河村市長は「許可」を保留している。

里山近くには七重のある宗宮聖廟名古屋大教団を中心とし、住民が一万近くいる。里山を保全する意義を訴えている。業者側は、今月中に許可が出ない場合、市側を訴える構え。市側側には、環境課の幹部も加わっており、開発を阻止するよう市に求める法廷闘争も容れない姿勢を見せている。

業者の板挟みにあった形の河村市長。保全できれば、来年市内で開かれる「里山」も重要なキーワードの生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)に向けた情報のアピールとなる。それだけに、これまで双方の意見を直轄聞くなどして、妥協案を探っている。しかし、落としどころは見つからず、「悩ましいですわ」と頭を抱えている。

都市計画で公園や緑地には指定されていない「市里山」で、行政的に開発に規制はない。もとの地主が亡くなったのを機に、ここを前市の開発業者が昨年、取得した。五つの六期連野宅地造成し、残りは別の会社に転売して私立学校を造る計画で、四月上旬、市に開発申請し、しかし、河村市長に就任した河村市長は「許可」を保留している。

里山近くには七重のある宗宮聖廟名古屋大教団を中心とし、住民が一万近くいる。里山を保全する意義を訴えている。業者側は、今月中に許可が出ない場合、市側を訴える構え。市側側には、環境課の幹部も加わっており、開発を阻止するよう市に求める法廷闘争も容れない姿勢を見せている。

業者の板挟みにあった形の河村市長。保全できれば、来年市内で開かれる「里山」も重要なキーワードの生物多様性条約第十回締約国会議(COP10)に向けた情報のアピールとなる。それだけに、これまで双方の意見を直轄聞くなどして、妥協案を探っている。しかし、落としどころは見つからず、「悩ましいですわ」と頭を抱えている。

COP10控え悩み… 河村市長は許可保留

「緑の一部は残す計画で、話し合いの準備もある。ただ、(住民側の)セロカ百かの議案では認めない。通常は一カ月もあれば許可が出るのに、今は精進と固定資産税で一日に二万円を支払っている」と語る。

「平針の里山募金運動」も併せてはじめます。

名古屋市の里山公有地化を実現するため、募金運動を行い市へ寄付します。小さいながらも市民の力を結集して、緑の街づくりを進めましょう。詳細は、別紙をご覧ください。

お知らせ

8月中には、里山現地見学会を開催する予定です。
詳しくは『里山ニュース No.4』でお知らせします。

